

＜ 2010年農林水産研究成果10大トピックス＞
農林水産技術会議事務局

＜タイトル＞

天然資源に依存しないウナギの生産に道を開く、世界初の「ウナギの完全養殖」に成功！

＜当該研究成果のポイント＞

実験室生まれのウナギのオスとメスを成熟させて卵および精子を採取し、人工授精したところ2010年3月27日にふ化仔魚を得た。この仔魚はその後順調に成長を続けている。これにより、これまで誰も成し遂げなかった「ウナギの完全養殖」に成功した。

本研究は農林水産省委託プロジェクト研究「ウナギの種苗生産技術の開発」で実施された。

＜期待される効果・今後の展開など＞

この成果により、天然資源に依存しないウナギの養殖技術への道が開かれ、天然のウナギ資源の保護に役立つと共に、「鰻」という日本の食文化を守る重要な技術となることが期待される。

今後は完全養殖を基礎技術として、国内のウナギ養殖に必要なシラスウナギを生産しうる技術に高度化するため、

- ① 良質卵の安定大量生産技術の開発
- ② 大型実験水槽等を利用した量産のための飼育システムの開発

に取り組む。

＜研究所名＞

（独）水産総合研究センター

＜担当者名＞

（独）水産総合研究センター 養殖研究所

業務推進部

伊藤文成 TEL:0599-66-1831

生産技術部繁殖研究グループ長 田中秀樹 TEL:0599-66-1830

（独）水産総合研究センター 志布志栽培漁業センター

主任技術開発員 今泉 均 TEL:099-472-0730

技術開発員 増田賢嗣 （同上）

＜連絡先＞

（独）水産総合研究センター広報室広報企画係長 佐野春美

TEL:045-227-2624

ウナギの種苗生産技術の開発ーH22までの主な成果

